



Linking your dreams  
リンテック株式会社

# 2019年3月期第2四半期 決算説明会資料



2018年11月15日  
リンテック株式会社

# 2019年3月期第2四半期 連結業績の概要①

	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

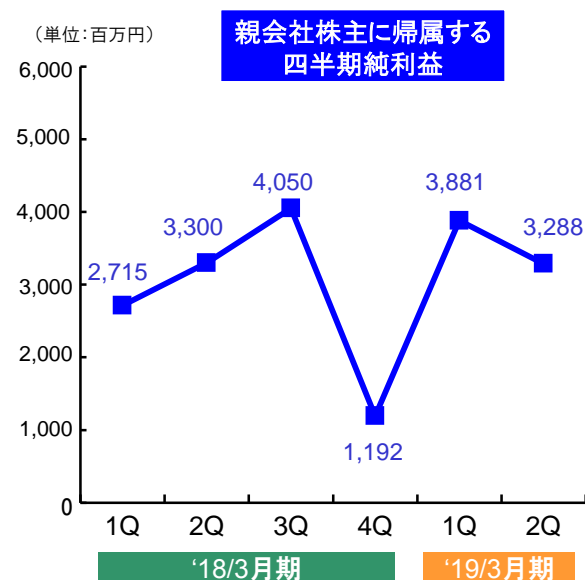
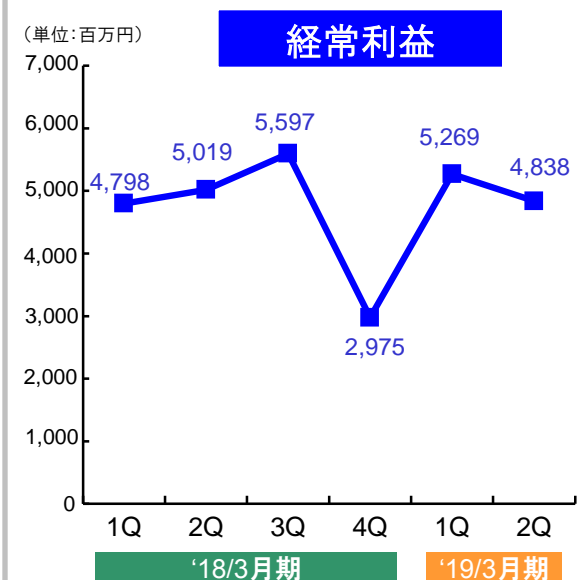
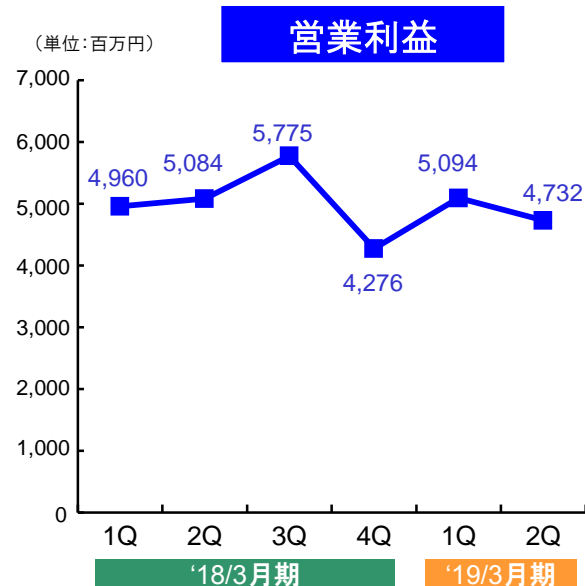
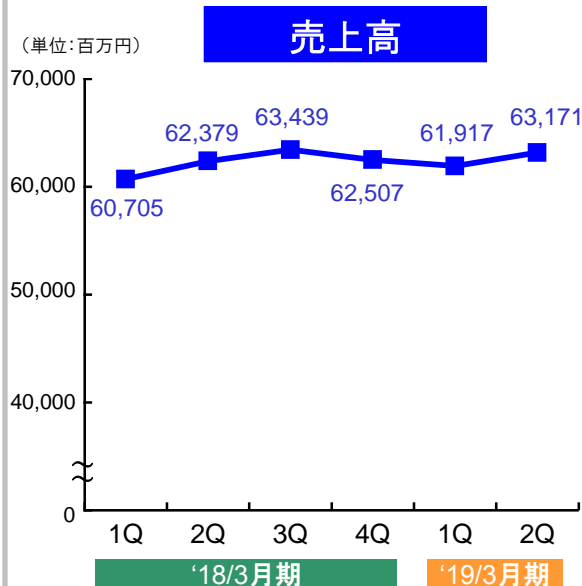
(単位:百万円)

売上高	123,084	125,088	2,003 (1.6%)
-----	---------	---------	-----------------

営業利益	10,044	9,826	▲218 (▲2.2%)
------	--------	-------	-----------------

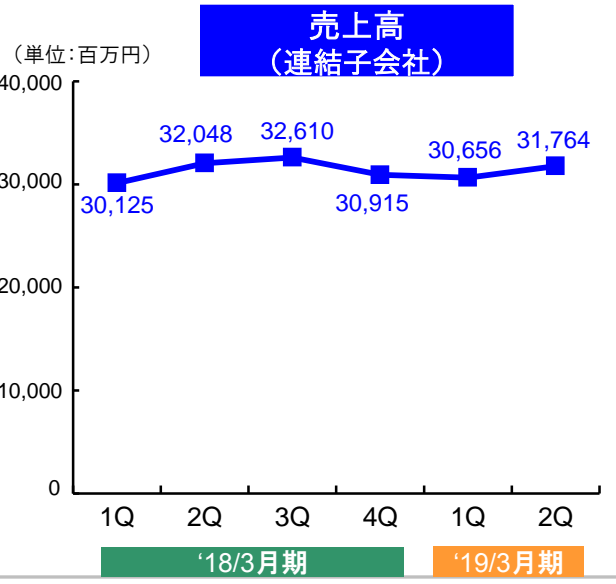
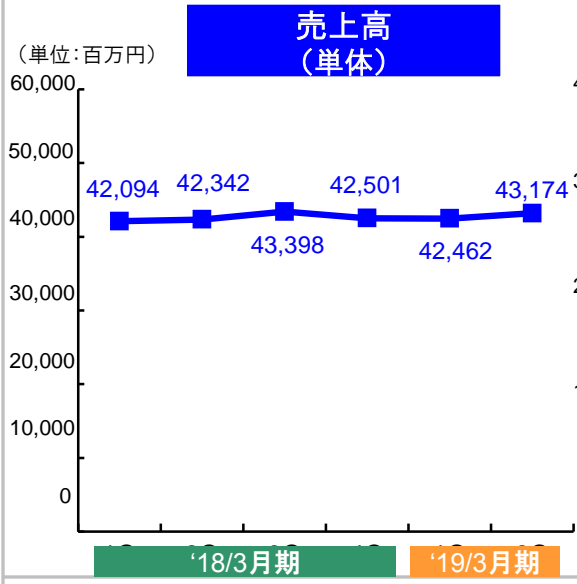
経常利益	9,817	10,107	289 (2.9%)
------	-------	--------	---------------

親会社 株主に 帰属する 四半期 純利益	6,015	7,169	1,153 (19.2%)
----------------------------------	-------	-------	------------------

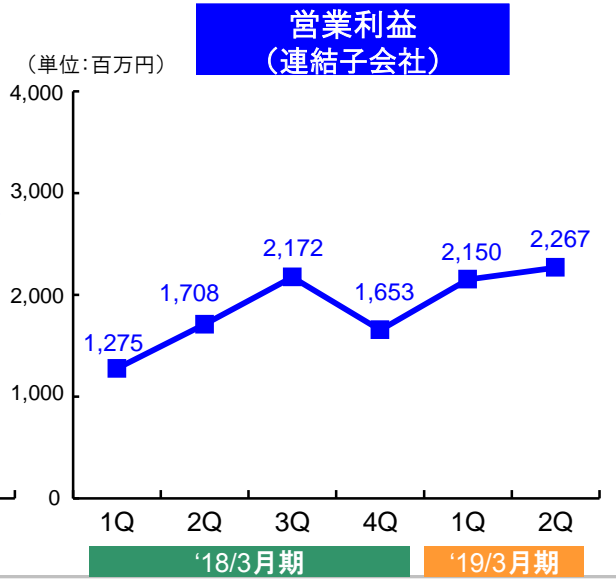
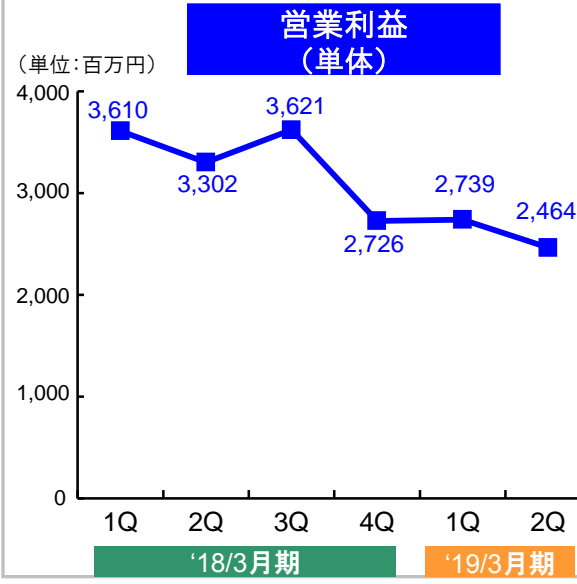


# 2019年3月期第2四半期 連結業績の概要②

	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
<b>売上高</b>			(単位:百万円)
単体	84,436	85,636	1,200 (1.4%)
連結子会社	62,173	62,420	247 (0.4%)
消去	▲23,525	▲22,968	557
計	123,084	125,088	2,003 (1.6%)



	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
<b>営業利益</b>			(単位:百万円)
単体	6,912	5,203	▲1,709 (▲24.7%)
連結子会社	2,983	4,417	1,434 (48.1%)
消去	149	206	57
計	10,044	9,826	▲218 (▲2.2%)



## ➤ 売上高

### ● 単体

印刷・情報材事業部門は減少  
その他の事業部門は総じて堅調

### ● 連結子会社

アドバンストマテリアルズ事業部門の台湾販売子会社が減少  
米国子会社が円高の影響を受け、円貨換算額が目減り  
その他の連結子会社は総じて堅調

## ➤ 営業利益

### ● 単体

(増益要因)

販売数量の増加など 約 6億円

(減益要因)

売上構成や販売単価下落の影響 約 5億円

原燃料価格の上昇 約 1.3億円

固定費の増加 約 5億円

### ● 連結子会社

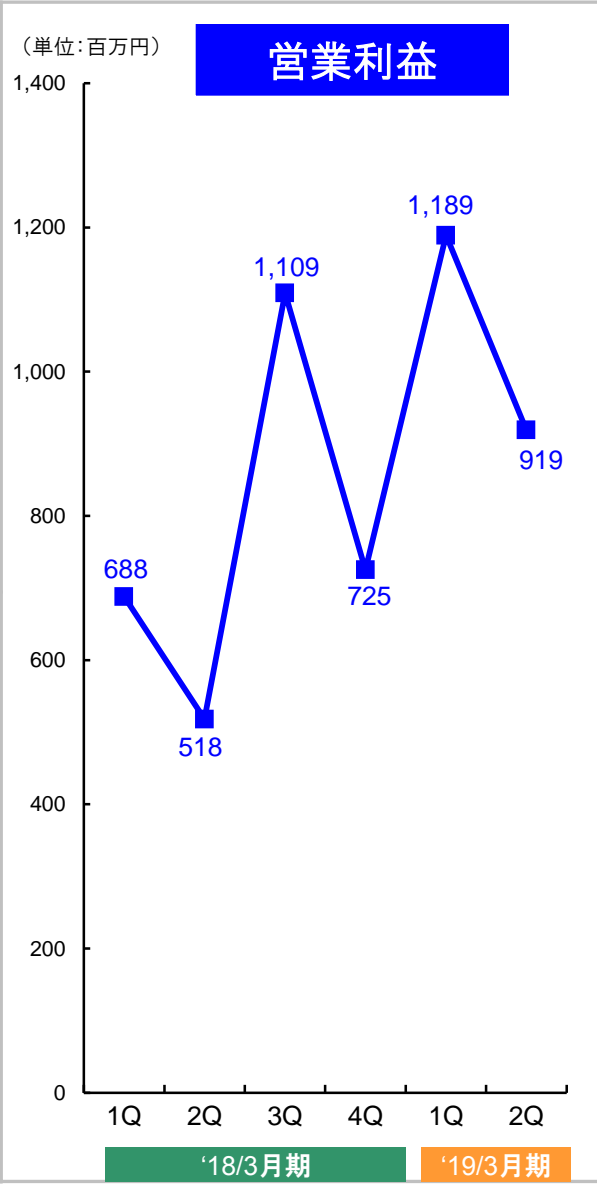
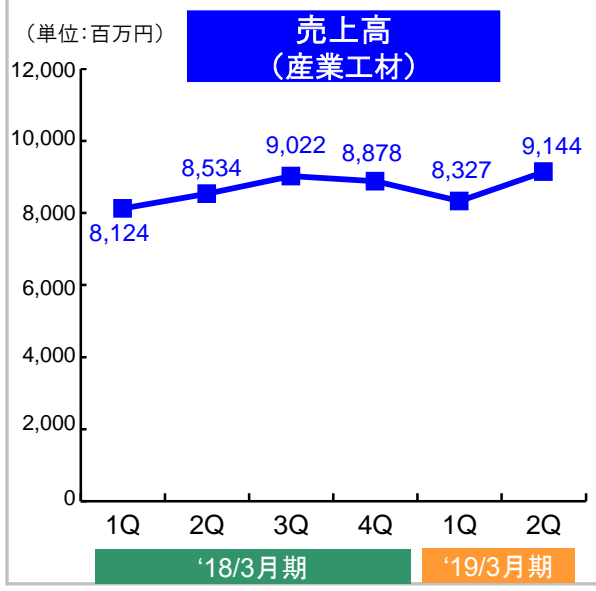
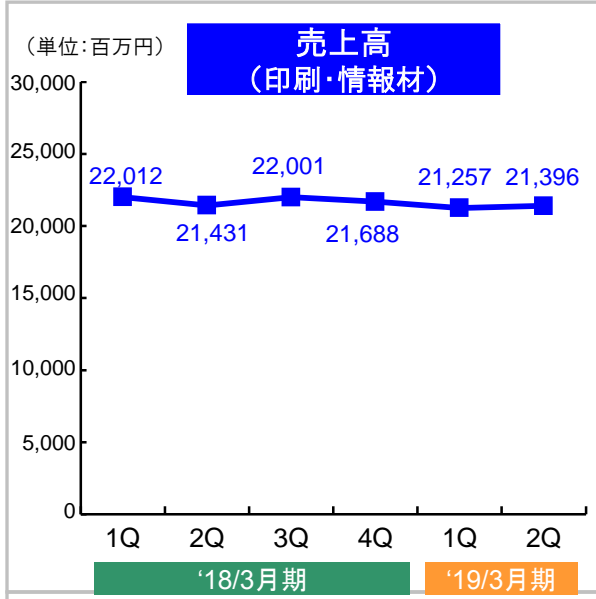
増収効果に加え、マディコ、マックタック、  
リンテック インドネシアの業績が改善

【期中平均為替レート(実績)】

	(18/3 2Q)		(19/3 2Q)
円/US\$	112.14	→	108.50
円/₱	122.22	→	130.65
円/WON	0.0989	→	0.1005
円/中国元	16.37	→	17.01
円/台湾\$	3.68	→	3.66

# 2019年3月期第2四半期 印刷材・産業工材関連の概要①

	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
印刷・情報材 事業部門	43,443	42,653	▲790 (▲1.8%)
産業工材 事業部門	16,658	17,471	812 (4.9%)
売上高 合計	60,102	60,124	21 (0.0%)
営業利益	1,206	2,108	901 (74.8%)



## ➤ 印刷・情報材事業部門

国内：宅配・通販関連、化粧品などのアイキャッチラベル需要が堅調

豪雨や大型の台風などの影響を受け食品関連が低調

海外：アセアン地域において堅調

米国において円高の目減り影響を受ける

## ➤ 産業工材事業部門

国内：通販向け装置やウインドーフィルムが堅調

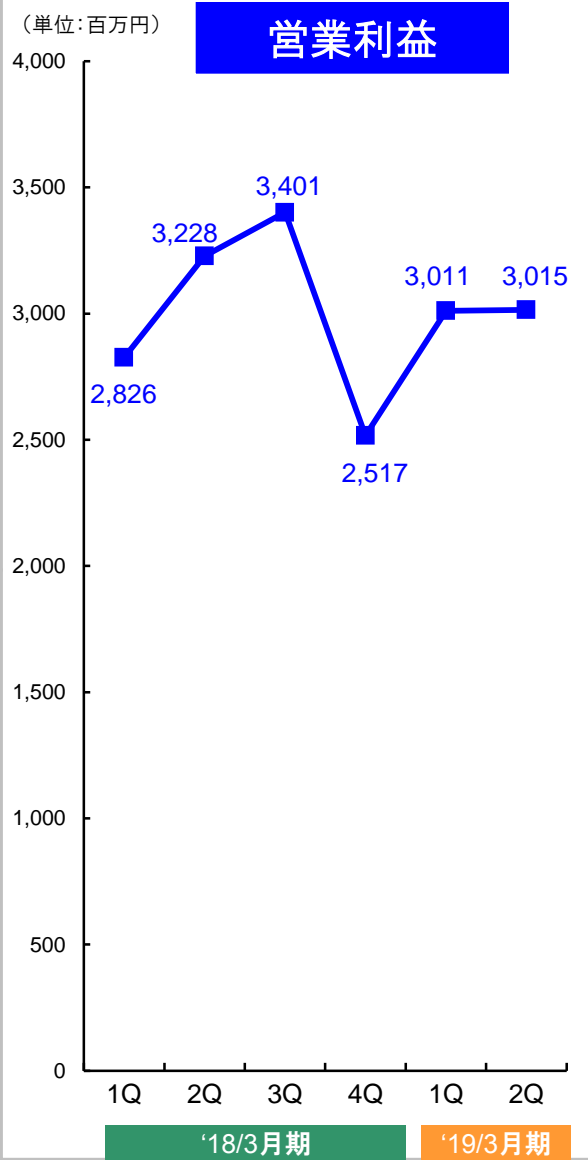
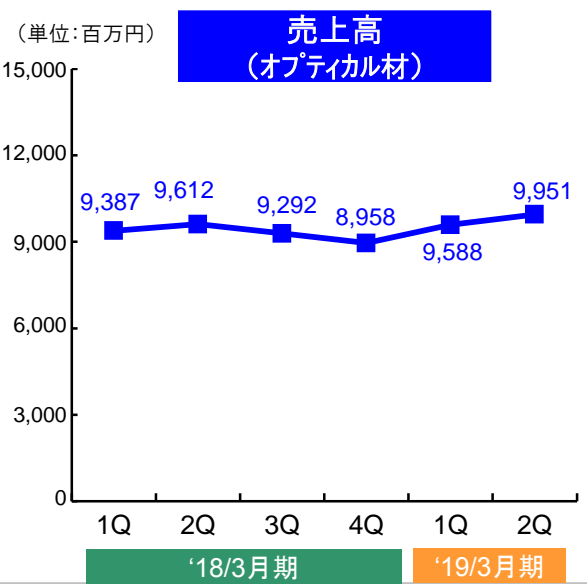
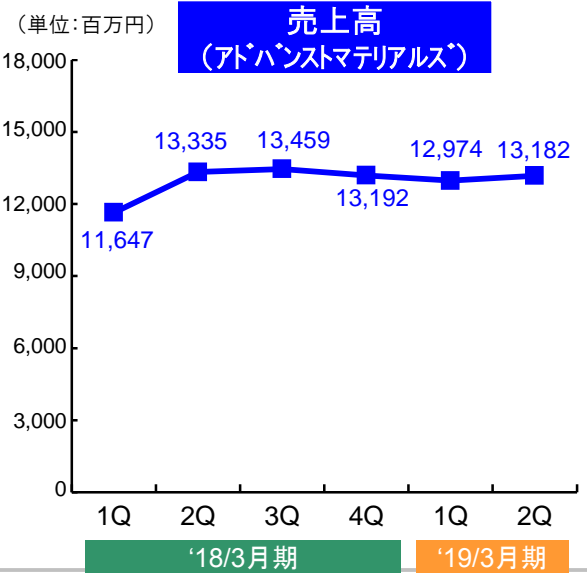
海外：二輪を含む自動車用粘着製品がインドやアセアン地域において順調

# 2019年3月期第2四半期 電子・光学関連の概要①

	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
--	------------------------	------------------------	-------------

(単位:百万円)

アドバンス マテリアルズ 事業部門	24,982	26,156	1,174 (4.7%)
オプティカル材 事業部門	18,999	19,539	539 (2.8%)
売上高 合計	43,982	45,695	1,713 (3.9%)
営業利益	6,054	6,026	▲27 (▲0.5%)



### ➤ アドバンストマテリアルズ事業部門

半導体関連粘着テープ：一時的な生産調整の影響もあり前年同期並み

半導体関連装置：設備投資抑制の影響を受け僅かに減少

積層セラミックコンデンサ関連テープ：スマートフォン、車載、サーバー用などの需要が好調

### ➤ オプティカル材事業部門

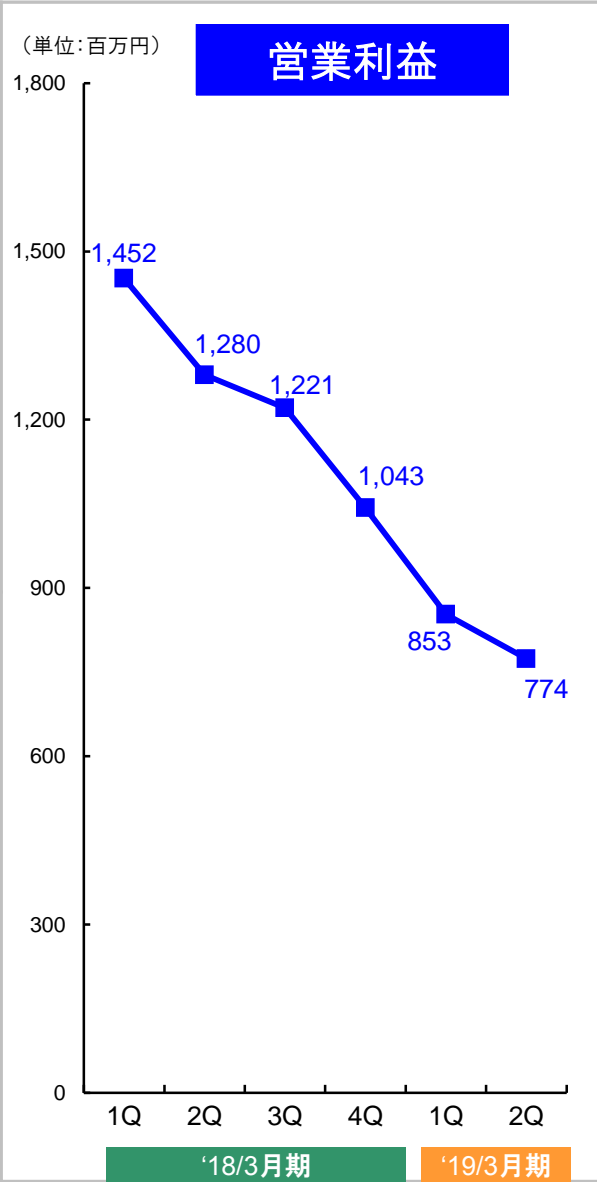
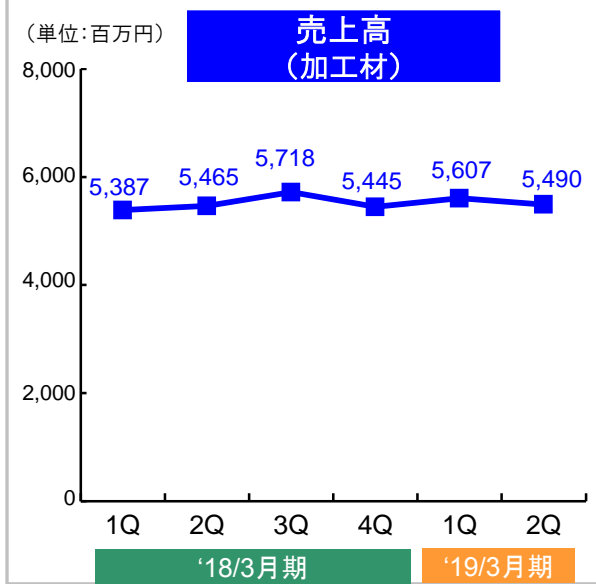
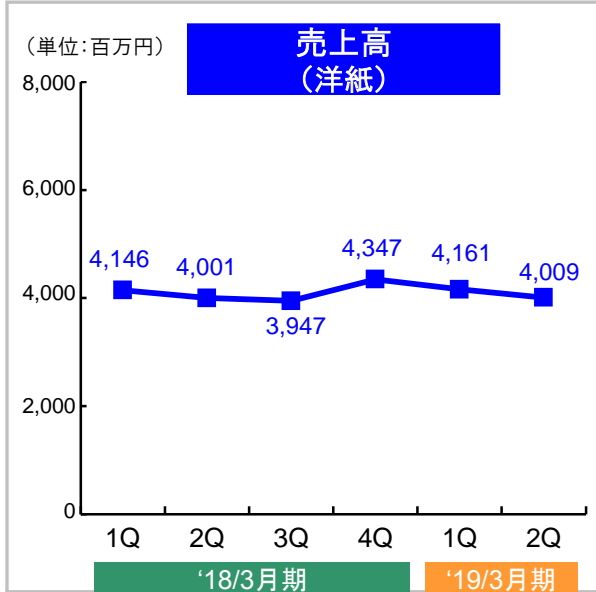
液晶ディスプレイ関連粘着製品：テレビの大型化により需要が順調

スマートフォン用などの中小型向けも堅調



# 2019年3月期第2四半期 洋紙・加工材関連の概要①

	'18/3月期 第2四半期 累計	'19/3月期 第2四半期 累計	増減 (増減率)
(単位:百万円)			
洋紙 事業部門	8,147	8,170	23 (0.3%)
加工材 事業部門	10,852	11,097	245 (2.3%)
売上高 合計	18,999	19,268	268 (1.4%)
営業利益	2,732	1,627	▲1,104 (▲40.4%)



## ➤ 洋紙事業部門

主力のカラー封筒用紙は前年同期並みであったものの、耐油耐水紙などが堅調

## ➤ 加工材事業部門

一般粘着製品用、電子材料用剥離紙は低調

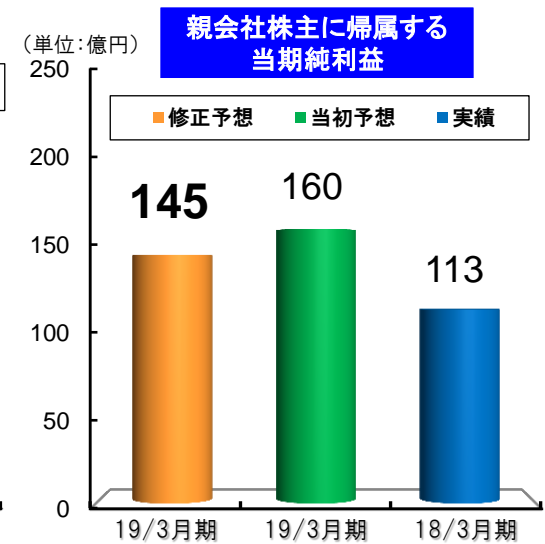
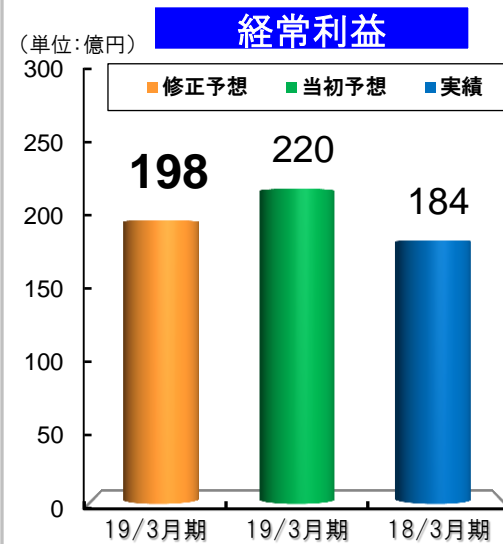
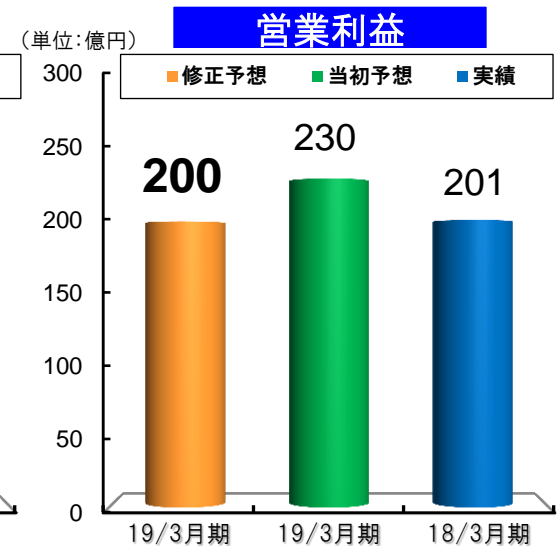
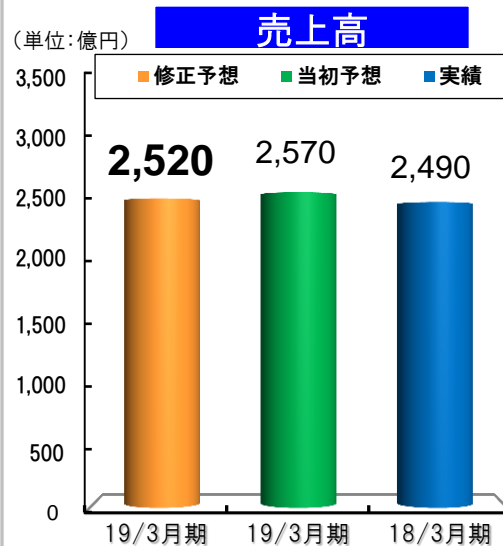
光学関連製品用剥離フィルム、炭素繊維複合材料用工程紙は順調

# 2019年3月期通期 連結業績予想①

	'19/3月期 修正予想	'19/3月期 当初予想	差異	(参考) '18/3月期 実績
売上高	2,520	2,570	▲50	2,490
営業利益	200	230	▲30	201
経常利益	198	220	▲22	184
親会社株主に 帰属する 当期純利益	145	160	▲15	113

【通期想定為替レート】

	'19/3月期 修正	'19/3月期 当初	'18/3月期 実績
円/US\$	110.50	108.00	112.04
円/1-円	130.00	128.00	127.22
円/WON	0.1000	0.0975	0.1000
円/中国元	16.60	16.50	16.63
円/台湾\$	3.70	3.60	3.70

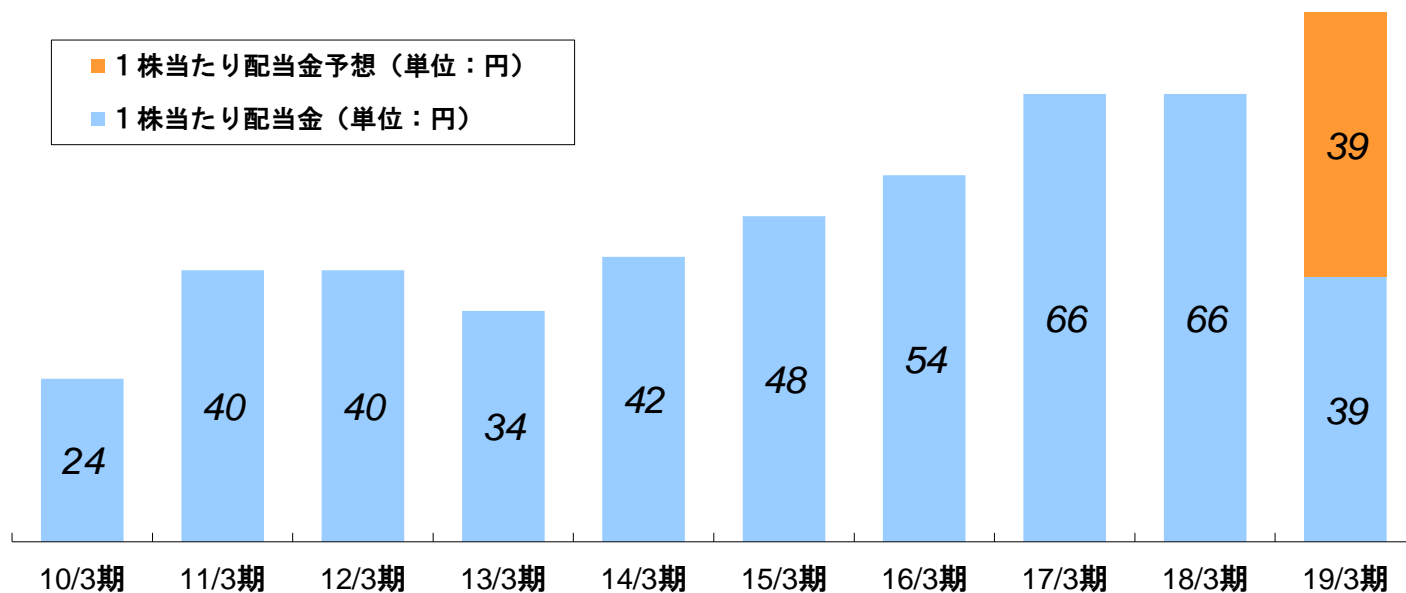


# 2019年3月期通期 連結業績予想②

(単位:億円)	'19/3月期 修正予想	'19/3月期 当初予想	差異	'18/3月期 実績	当初予想からの変動要因
売上高	2,520	2,570	▲50	2,490	
印刷材・産業工材関連	1,229	1,258	▲29	1,217	
印刷・情報材事業部門	871	896	▲25	871	単体で上期に豪雨や大型の台風などの影響を受けたほか、国内外で厳しい事業環境が続くと見ており減額
産業工材事業部門	358	362	▲4	346	マディコは堅調に推移すると見込んでいるものの、単体およびマックタックにおいて当初予想を下回ると見ており減額
電子・光学関連	905	921	▲16	889	
アドバンストマテリアルス事業部門	532	552	▲20	516	積層セラミックコンデンサ関連テープは順調を見込むも、半導体関連粘着テープ・装置が当初予想を下回ると見ており減額
オプティカル材事業部門	373	369	4	373	下期は大型・中小型ともに需要低迷の影響を受けると見ているものの、上期において順調に推移したこともあり増額
洋紙・加工材関連	386	391	▲5	384	
洋紙事業部門	166	170	▲4	164	耐油耐水紙は堅調に推移すると見込んでいるものの、主力のカラー封筒用紙が僅かに減少すると見ており減額
加工材事業部門	220	221	▲1	220	合成皮革用工程紙が中国国内での需要低迷の影響を受けると見ており減額
営業利益	200	230	▲30	201	
印刷材・産業工材関連	50	54	▲4	31	マディコは堅調であるものの、国内外で販売数量の減少、原材料調達コストの上昇などの影響を受けると見ており減額
電子・光学関連	115	126	▲11	120	半導体関連粘着テープがメーカーの生産調整を受けると見ており減額
洋紙・加工材関連	35	50	▲15	50	パルプを中心とした原燃料価格が当初想定を大きく上回ると見ており減額

## (基本方針)

当社は株主への利益還元の充実を経営上の最重要課題の一つと位置づけており、利益配分につきましては、経営基盤の強化を図りつつ、各事業年度の連結業績を勘案し、安定的かつ継続的な配当を行っていくことを基本といたします。内部留保資金につきましては、財務基盤の強化ならびに将来の企業価値向上のための生産設備や研究開発投資などに有効に活用してまいります。



親会社株主に帰属する 当期純利益(億円)	72.8	136.2	86.4	76.8	85.0	116.6	109.0	114.5	112.6	145.0
1株当たり当期純利益(円)	96.36	180.21	115.26	102.83	114.22	161.63	151.07	158.69	156.02	200.87
連結配当性向(%)	24.9	22.2	34.7	33.1	36.8	29.7	35.7	41.6	42.3	38.8

# ご清聴ありがとうございました

## 本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。